

滝呂児童センター 事業評価表

※事業区分「1」・・・仕様書事業 「2」・・・自主事業(企画事業)

項目	事業 区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					実施 回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R3 年度	R4 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を 対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ベビーズクラブ ・0歳児クラブ体験会	月2回程度	10回以上	13	13	12	54	0	0	50	104	13	85	0	0	89	174	親子間の絆を深めるふれあい遊びや保護者の 育児負担及び孤独感を軽減することを目的に、 活動の中に保護者同士が交流できる時間を設 けて展開した。0歳児クラブにおいては、新型コ ロナウイルス感染症に伴う制限緩和が要因とな り、参加人数は増加した。
		② 乳幼児クラブ 1歳 びよびよクラブ ・1歳児クラブ体験会	月2回程度	10回以上			12	76	0	0	54	130	13	95	0	0	85	180	参加幼児の運動機能の成長に合わせたサー キット遊びやクリスマスグッズ作りといった工作 遊びを展開した。 また、地域資源である陶彩の径や滝呂中央公園 を活用した親子さんぽを実施。さらには、子重ト レーニングを取り入れて展開した。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 さんさんクラブ ・2歳児クラブ体験会	月2回程度	10回以上			12	200	0	0	144	344	13	65	0	0	50	115	家庭で行い難い遊びの場として、トランポリン、 巧技台といった大型の運動器具を用いた運動遊 びや送風機を用いて行う新聞紙遊びを展開し た。しかし、2歳児クラブにおいては、早期就園化 が要因となり、参加人数は減少した。
	小 計						36	330	0	0	248	578	39	245	0	0	224	469	
	2	④ 乳幼児 自主事業 ・親子であそぼう ・パパとあそぼう ・滝っ子お話し会 ・園児対象トランポリン ・敬老の日のプレゼント作り	適宜	—	15	14	53	287	69	0	217	573	75	318	87	5	249	659	未就学児親子が望む親子遊びの場の提供を 目的に、親子で(パパと)あそぼうでは、運動遊 び、工作遊び、室内遊びと多岐に渡る活動を展 開した。さらには園児親子から、園児も参加で きる事業の実施回数を増加してほしいとの要望を うけたため、令和4年度6月から新たに毎月1回 園児対象トランポリンを展開した。
		小 計						53	287	69	0	217	573	75	318	87	5	249	659

※事業区分「1」…仕様書事業 「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R3	令和3年度の参加人数					実施回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R3 年度	R4 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
児童を対象とした事業	1	①一輪車クラブ ・初級 ・上級	月2回程度	6回以上	14	14	24	9	188	3	16	216	23	5	244	0	16	265	初級、上級コースの2コースを設置し、技能向上を目標に活動を展開した。令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響により演技披露の場が無かったが、動画撮影を行い、3月に開催した「ふれあい春まつり」内で上映し、保護者を含む多くの来場者に披露した。
		②子どもスタッフクラブ	月1回程度	6回以上			12	4	119	0	4	127	18	2	220	0	2	224	多治見市社会福祉協議会が運営する他の児童館及びセンター合同による「子スタ合同活動報告会」に向けて活動報告ポスターの作成や「ふれあい春まつり」内でスタッフとして活動した。子どもスタッフクラブにおいては実施回数を増加した事が要因となり、参加人数も増加した。
		③ ボランティア活動 ・子どもボランティア 施設内壁面制作 施設内外清掃活動 高齢者に向けた誕生日カード作り 来館幼児見守り	月1回程度	随時			11	0	57	0	0	57	13	8	58	0	5	71	令和4年度においては、デイサービス慰問や老人センター内での奉仕活動は自粛したが、複合館の特性を活かした奉仕活動として、壁面制作や誕生日カードを制作し贈る活動を実施した。さらには感染拡大状況に応じて、未就学児親子の了承を得たうえで、児童が幼児の見守りを行う奉仕活動も展開した。
	小 計						47	13	364	3	20	400	54	15	522	0	23	560	
	2	④ 児童 自主事業 ・新1年生集まれ ・防犯のお話 ・トランポリン ・チャレンジ番付 ・季節工作 (母・父の日プレゼント作り、うちわづくり、スライムづくり 等) 小学生お楽しみ会 等	適宜	—	14	14	36	89	452	6	78	625	49	117	559	6	112	794	運動促進事業であるチャレンジ番付では、毎月様々な種目の運動遊びを提供し、特に2月に開催した、多治見市社会福祉協議会が運営する他の児童館及びセンターで記録を競い合う「1分間縄跳びチャレンジ」は児童に好評であった。令和4年度、より多くの児童に参加してもらえるよう、実施回数を増加した。さらには工作事業を有料及び無料制の2種類展開した。児童だけでなく、保護者からも「これまでより、工作の種類が増えて良い」と高評価を得ることが出来た。
小 計							36	89	452	6	78	625	49	117	559	6	112	794	

※事業区分「1」…仕様書事業 「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R3	令和3年度の参加人数					実施回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R3 年度	R4 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・サンホーム滝呂ふれあい春まつり	年1回	1回以上			0	0	0	0	0	0	1	13	52	1	51	117	子どもスタッフクラブ員を中心に、新型コロナウイルス感染症感染予防策を講じたうえで、幼児から大人までの幅広い世代の人々が参加出来る「サンホーム滝呂ふれあい春まつり」を実施した。遊びのブースでは高齢者や障がいを持つ人も楽しむことの出来るボッチャ体験やスカットボールを展開し、福祉体験の場としても機能した。100名を超える来場があり、スタッフとして活躍した児童も達成感を感じることが出来ていた。
		② 移動児童館 ・滝呂ブラブラまつり ・楽市楽座 ・陶際の径さくらまつり(中) ・笠原福祉まつり(中) ・移動児童老人センター(2回中)	年3回	地域事情に応じて	14	14	1	49	99	2	98	248	2	92	102	4	137	335	新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の催しが中止される中で、令和4年度は滝呂地域力向上実行委員会主催の「滝呂ブラブラまつり」及び多治見市及びNPO法人ママズカフェ主催の「楽市楽座」に移動児童センターとして参加した。滝呂ブラブラまつりでは、サメ釣りやお菓子すくいを展開した。楽市楽座では太平児童センターと合同で工作ブースを展開した。多くの参加があり、児童センターのPRに繋がったと共に地域自治組織との連携も深まった。
	小 計						1	49	99	2	98	248	3	105	154	5	188	452	
	2	③ 地域・多世代 自主事業 ・七夕週間「短冊に願いを書こう」 ・うながっぱうちわ配布 ・縁日週間 ・幸せみくじを引こう！ ・敬老週間サンホーム杯 ・秋の作品展 ・花餅づくり ・新春書初め作品展 ・節分厄除け作りと豆まき	適宜	—	13	13	8	65	229	8	1138	1440	12	114	210	3	1133	1460	令和4年度においても重症化リスクの高い高齢者も利用する複合館であることから、新型コロナウイルス感染症予防を最優先とした。サンホーム滝呂共有スペースにて各世代の利用者が制作したぬり絵や書き初めといった作品を通じて交流を深める、間接的交流事業を令和3年度と比較し回数を増加して実施した。下半期には「地域住民と交流する場が無い」との市民の要望に対応すべく、感染拡大状況に応じて、規模を縮小して利用者同士が交流する事業の花餅作りや、運動遊びを取り入れた事業の節分厄除け作りと豆まきを実施した結果、幼児の参加人数が増加した。
							8	65	229	8	1138	1440	12	114	210	3	1133	1460	

※事業区分「1」…仕様書事業 「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R3	令和3年度の参加人数					実施回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R3 年度	R4 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
中高生事業	1	① 中高生ボランティア ・奉仕活動の場の提供	適宜	3回以上	13	14	1	0	0	1	0	1	14	0	0	43	0	43	新型コロナウイルス感染症予防策を講じたうえで、長期夏季休業期間内における多治見中学校「輝き隊」に向けた中高生ボランティアの招集を再開した。さらには、自主的にボランティア活動を行いたいと来館した生徒に対しても、来館状況に応じて幼児及び児童の見守り、壁面制作、事業事前準備、片付けといった活躍の場を提供した。
	小 計						1	0	0	1	0	1	14	0	0	43	0	43	
	2	② 中高生 自主事業 ・中高生スポチャレ ・中高生とあそぼう	適宜	—	13	13	1	0	3	1	0	4	5	0	14	29	0	43	中高生の居場所作り及び児童と生徒の異学年交流を目的とした運動遊びの場「中高生スポチャレ」を毎月1回程度企画したが、実施日に合わせて参加する生徒は少数であり、9回未実施となった。そのため、中学校の春期休業期間に合わせて新規事業「中高生とあそぼう」を実施した。一般来館生徒に向けて運動遊びを促し、更に児童と共に行うことが出来る環境づくりに努めた結果、事業の目的は果たすことが出来たとともに、中高生の一般来館人数が増加した。
	小 計						1	0	3	1	0	4	5	0	14	29	0	43	

※事業区分「1」…仕様書事業「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R3	令和3年度の参加人数					実施回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					R3 年度	R4 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業 ・子育て相談日	月1回	月1回以上	13	13	4	1	0	0	1	2	12	0	0	0	0	0	子育て相談日においては、設置日に合わせて来館するケースは0件であった。当センターが身近な相談場所であることをおたより等で周知した結果、相談日以外の開館日に36件の相談を受けた。令和3年度と比較して相談件数は27件減少した。新型コロナウイルス関連により不安を抱える保護者が減少したことが要因として考えられる。関係機関に繋げた事案は0件であった。
		② 講習・講演・他連携 ・科学工作 ・バードウォッチング ・子スタ合同活動報告会 ・赤い羽根共同募金配分金事業(中) ・歳末助け合い募金配分金事業(中)	年3回	2回以上			0	0	0	0	0	0	3	17	63	1	61	142	新型コロナウイルス感染症予防策を講じたうえで、他団体及び機関に依頼し行う連携事業を再開した。核融合科学研究所と連携し、小学校の長期夏季休業に合わせて科学工作を実施した。さらには土岐川観察館と連携して、地域資源である巢立ちの森(旧滝呂小学校跡地)を活用した新規事業バードウォッチングを実施した。
		③ 母親クラブ ・総会及び親睦会「お花見さんぽ」 ・講習会 「パン作り、ジェルキャンドル作り、アロマ虫よけスプレー作り、アクセサリ作り、HIPHOPダンス、カレンダー作り、味噌づくり、バランスボール」 ・お楽しみ会 「子スタ合同縁日遊び、合同ハロウィン、クリスマス会」	適宜	随時			8	56	45	0	60	161	15	127	49	1	140	317	新型コロナウイルス感染症予防策を講じたうえで、母親が抱える孤独感の軽減を目的に講習会、お楽しみ会等の様々な活動を代表者と協議し再開した。共催で非会員の参加も可能な事業を展開した結果、新規加入者6名があり、母親クラブの活動補助である児童センターの役割を果たすことが出来た。新型コロナウイルス感染症の影響により中止してきた事業の再開により、令和3年度と比較して実施回数及び参加人数は増加した。
	小 計						12	57	45	0	61	163	30	144	112	2	201	459	
	2	④ 子育て 自主事業 ・YYスマイルサロン ・なないろひろば	月1回程度	—	13	14	8	5	14	5	59	83	18	48	32	21	116	217	新型コロナウイルス感染症予防策を講じたうえで、障がいを持つ子とその保護者が安心安全に過ごすことができるようYYスマイルサロンを実施した。活動中は職員と保護者が子の見守りを行いながら、大型遊具を用いた運動遊びや季節工作遊びの場を展開した。なないろひろばでは、集団活動に不安を感じている親子に対して少人数制のクラブ活動の場を無料で提供した。
小 計							8	5	14	5	59	83	18	48	32	21	116	217	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。 1: 取消等を検討、2: 不備が目立つ、3: 若干不備あり、4: 良好、5: 期待以上